

# 乳業施設の停電対策により生乳の持続可能な生産・流通を確保 (全国の乳業施設)

事業者：乳業者

II-1 電力等エネルギー供給の確保

II-2 食料供給、ライフライン、サプライチェーン等の確保

II-3 陸海空の交通ネットワークの確保

II-4 生活等に必要な情報通信機能の確保



非常用電源の整備により停電時でも牛乳乳製品の製造を可能に



## 対策名：No.109 畜産物の安定供給上重要な畜産関係施設（乳業施設）に関する緊急対策

- ポイント**
- 停電時における酪農家・貯乳施設・乳業施設の対応計画を作成
  - 災害に備え非常用電源を整備すること等により、生乳の持続可能な生産・流通を確保

### 地域の概要・課題

平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震で起きた道内一斉停電（ブラックアウト）では、乳業施設において殺菌やパック詰め等の生乳の処理に対応できなくなり、一部の生乳を廃棄せざるをえない状況となりました。

今後同様の災害が発生した場合にも、生乳の廃棄を回避し、牛乳乳製品の供給に支障が生じないよう各地域での実情を踏まえた対応を事前に準備しておく必要があります。

### 事業の概要

平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震で起きた道内一斉停電（ブラックアウト）を機に、全国10のブロックにおいて酪農家・貯乳施設・乳業施設の停電時の対応計画を作成しました。

また、対応計画を踏まえ、地域の生乳の加工・流通の継続のために必要な非常用電源を整備しました。

### 【見込まれる効果】

緊急対策の実施により、対応計画による生乳受入れ先の調整や非常用発電機導入が図られ、牛乳乳製品の供給を維持できる体制が整備されると想定されます。

これにより、災害発生時の生乳廃棄を生じることなく、原材料となる生乳の殺菌や梱包など牛乳乳製品の製造を継続できるようになります。